



《将来に向けた取組方針》

セブン&アイグループでは、気候変動・自然資本の枯渇・生物多様性の損失等の環境問題や人権・労働等の問題に対して、「持続可能な調達基本方針」を策定しています。地球と社会の持続可能性を保ちながら、企業も成長するためにステークホルダーと連携し、サプライチェーン全体で取り組みます。

1. 生物多様性への配慮、その回復に向けた活動への協力
2. 違法な自然資本の取引や伐採・漁獲の排除
3. 枯渇の危機にある自然資本への配慮
4. トレーサビリティと情報発信の推進
5. サプライチェーン全体の人権への配慮

〈具体的取組み事例〉

イトーヨーカドーでは、農薬・化学肥料を減らすだけでなく、野生生物が生息できる田んぼをつくり「生物多様性農業」を実践している「環境保全・自然共生型栽培米」シリーズを販売しています。この商品の収益の一部は産地の環境整備のために寄付しております。2018年度は「コウノトリ育むお米 コシヒカリ」の収益の一部をコウノトリ育成基金へ、「朱鷺と暮らす郷づくり認証米 新潟県佐渡産コシヒカリ」の収益金の一部を佐渡市トキ環境整備基金へ寄付しました。



環境保全、自然共生栽培米